

## 杉山登名誉教授記念号の発刊にあたって

学長 山田家正

この度、人文研究第84輯を発刊するにあたり、本学の発展に多大の貢献をされた小樽商科大学名誉教授杉山登先生のご業績を讃え、本輯を「杉山登名誉教授記念号」とすることになりました。先生は昭和33年に本学にご着任以来、講師、助教授、教授として32年間に亘り本学の体育教官として活躍され、平成2年3月をもって定年により退官されました。本学学生に対してはもとより、教職員のためにも、水泳・スキーなどを通じて、スポーツ科学や健康維持のよき指導者として、真摯にご教導頂きましたことに対し改めて感謝申し上げます。

先生はまた、本学のみならず、小樽市はじめ北海道の体育振興や、教師の体育指導力向上にご尽力下さり、各種団体の要職を務められました。後記、研究業績リストからも推察されますように、先生はお若いときから水泳に強い関心を持たれ、ご自身も北海道を代表する選手として活躍された斯界の達人でありますので、水泳を通じてのスポーツ科学に関する優れた研究論文を発表してこられました。本記念号にお寄せ頂いた「40年をかえりみて」と題する先生の原稿を拝読しましたが、国立大学には数少ない温水プールの補修や改築に心を砕いていただいた経緯などからも、本学を愛し、学生を慈しんでこられた教育者の姿勢がうかがわれます。

この記念号が人文研究会所属教官のみならず、小樽商科大学全体の先生に対する感謝の気持の一つとして編纂されたものであることを記して、発刊のご挨拶と致します。